

臨床医学4 第4回

4-2 次は病原体についての説明である。あてはまる病原体の名称をそれぞれ記載しなさい。

- (1) 最も単純で原始的な動物。単一の細胞からなる。
- (2) カビや酵母などのような生活形態をもった原生動物。
- (3) 一番小さな病原体で、動物細胞に侵入しその生命機構を利用して細胞内で増殖する。
- (4) らせん形をした細菌。
- (5) とともに細菌の一種で、細菌より小さく、生きた細胞の中でのみ増殖する。
- (6) 細菌の一種で、原核生物としては一番小さく、細胞壁を持たない。
- (7) 動物細胞外でも増殖できるのがウイルスと違っている。汚染された食品での食中毒はその一例。

4-3 病原体の感染経路はさまざまである。以下の感染症に共通する感染経路を記載しなさい。

- (1) 細菌性食中毒、赤痢、コレラ、腸チフス、A型肝炎
- (2) 破傷風、レプトスピラ症、性病、軟性下痢、痘瘡
- (3) 結核、レジオネラ、水痘、麻疹
- (4) インフルエンザ、百日咳、ジフテリア、肺ペスト

4-6 次の（ ）内にあてはまる語句を記載しなさい。

感染症の診断は（1）を検出することが急務である。その検出法として、顕微鏡を用いて観察する（2）や、染色法として（3）染色、（4）染色、そのほか、（5）抗体法などがある。細菌（6）検査は分離（7）を用いて（1）を決定する。

4-8 次の内容にあてはまる検査法について記載しなさい。

- (1) 細胞、組織の構造、性質を眼でみえる状態にするための色素で染めること。
- (2) 顕微鏡検査のためにガラス板上に塗布された分泌物や血液の標本。
- (3) 梅毒感染の有無を検査する血清反応の一つ。偽陽性もある。
- (4) 異物との接触によってその異物に対し特異的に抗体作用、中和作用を及ぼすような機能を持つ血中蛋白。主として血中の γ -グロブリン分画に存在する。
- (5) 腸チフス、パラチフスに用いられる抗原抗体反応。
- (6) 活性補体の有無を溶血の有無によって判定する試験。抗体がないと溶血がおき、抗体があると溶血がおきない。

4-12 その他のサルモネラ感染症について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

(1)、(2) 以外のサルモネラによる感染症である。サルモネラは、世界中に広く存在している細菌で、ヒトだけでなく (3) にも感染する。また、ペットとして (4)、(5)、貝類にも感染が及ぶが、動物では発症せずに屠殺場や家禽処理場へと菌が持ち込まれ、さらに食品工場から食料品店、家庭へと入り込む (6) の起因菌の一つである。

4-15 結核について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

結核は、(1) 性、(2) 性の疾患であるが、約 90%は (3) 結核で、次に (4) 結核が多い。結核菌は (5) 菌で主に (6) 感染をする。気管支、(3) 以外の臓器をおかす場合 (7) 結核と呼ぶ。

4-16 予防接種について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

予防接種には (1) 法による定期接種として、3 種混合ワクチン、2 種混合ワクチン、(2)、(3)、(4)、(5) がある。3 種混合ワクチン (DPT) は、(6)、(7)、(8) の混合ワクチンで、2 種混合ワクチン (DT) は、(6)、(7) の混合ワクチンである。また、結核予防法による予防接種として (9) がある。そのほか、法律では定められていないが、任意の予防接種対象疾患として、(10)、(11)、(12)、(13) などがある。

4-19 細菌性食中毒について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

細菌性食中毒には (1) 型と (2) 型がある。(1) 型とは原因菌が大増殖した食品を摂取することにより、腸管内で感染をおこすものである。代表的原因菌として (3)、(4) がある。一方 (2) 型は食品の中で増殖した細菌が (2) を産生し、その (2) をもった食品を摂取することによっておこす食中毒である。代表的原因菌として (5)、(6) などがある。潜伏期は (2) 型で数時間で、発熱は少ないのに対し、(1) 型では、10 時間以上で発熱がみられることが多い。主症状は (7)、(8)、(9) などである。治療としては、抗菌薬として、(10)、(11)、(12) があるが、菌が確定した後は、各々の第一選択薬に変更する。

4-36 猩紅熱について、() 内にあてはまる語句を記載しなさい。

A 群 (1) 菌による (2) 感染で毒素型である。小児に多く発症する。初発症状は、(3)、(4) 炎と咽頭炎で、舌乳頭の発赤腫大がみられる。これを (5) という。合併症として、(6) や (7) がみられる。検査としては (8) 試験、CRP (9) 性、(10) 値の上昇がみられる。

4-45 次の表の () 内にあてはまる語句や菌名を記載しなさい。

主なグラム陰性菌群	グラム陰性 (1) 菌	① (5) …大腸菌、サルモネラなど
		② ビブリオ…腸炎ビブリオ、(6)
	グラム陰性 (2) 気性 (1) 菌	① (7) …薬剤に対して高い抵抗性がある
		②ブルセラ…代表的な人獣共通伝染病の病
		③百日咳菌
		④野兎病菌
		⑤ (8)
	グラム陰性 (3) 気性 (1) 菌	バクテロイデス
	グラム陰性 (4) 菌	ナイセリア… (9)、髄膜炎菌

4-46 次の表は感染症とその病原体を感染経路によって分類したものである。

() 内にあてはまるものを語群より選び、記号で答えなさい。(複数解答可)

	感染症名	病原体名
飛沫感染	猩紅熱	(1) 菌
	流行性脳脊髄膜炎	(2) 菌
	百日咳	百日咳 (3)
	風疹	風疹 (4)
経口感染	コレラ	コレラ (5)
	細菌性赤痢	(6)
	アメーバ症	(7)
	ポリオ	ポリオ (8)
空気感染	結核	結核 (9)
	麻疹	麻疹 (10)

語群

- a. A群溶血連鎖球 b. ウィルス c. エントアメーバ・ヒストリティカ
d. 菌 e. シゲラ f. 髄膜炎

4-62 ウイルス性髄膜炎について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

ウイルス性髄膜炎は、(1) 髄膜炎ともいわれ、コクサッキーウイルス、ムンプスウイルス、単純ヘルペスウイルスなどでおきる。細菌性の髄膜炎に比べて全体的に (2) である。しかし、単純ヘルペスによるものは (3) を伴い注意を要する。症状として発熱、(4)、倦怠感、悪心、IIE 吐、項部強直などが現れ、特にムンプスウイルスによるものは (5) に続発しておこる。

4-66 ヘルペスウイルス感染症の症状について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

単純ヘルペスウイルスは (1)、(2)、神経系組織を好んで侵し、(1) や (2) に (3) が出る。その他、歯肉出血、(4) 炎、(5) 炎などの眼症状、(6) ヘルペス、髄膜脳炎の原因となる。また、(7) 感染による新生児ヘルペス症は重症で死亡率も高い。ヘルペス (8) も予後不良で知能低下などの後遺症が残る。

4-68 次の () 内にあてはまる語句を記入しなさい。

帯状疱疹とは (1) ともいい、(2) が治癒後に潜伏持続感染を続け、(3) や、(4) の使用などで抵抗が弱ったヒトに (5) した病像である。胸部、頸部、三叉 (6) 領域に、末梢 (6) の走行と一致して (7) がみられ、激しい (8) がある。ほとんどが身体の片側に発症し、(8) は後遺症として残る場合がある。治療としては発症早期の (9) の投与が有効である。

4-70 次の（）内にあてはまる語句を記載しなさい。

麻疹は、(1)とも呼ばれ、病原体は麻疹(2)で、(3)感染によって発症する。伝染力が強く、(4)に多く発症する。潜伏期は約10日で、(5)と共に、咳、喉頭炎、頭痛、結膜炎、鼻粘膜の(6)症状などをおこす。発疹がおこる数日前に口の中の粘膜に(7)が出現し、これが麻疹の診断の決め手の一つとなる。発疹はいったん治まるが次に(8)色の発疹が全身に拡がり数日後に消失し、皮膚の(9)が1~2週間残り治癒する。合併症として、気管支(10)、中耳炎、(11)がある。

4-72 急性ウイルス肝炎について、（）内にあてはまる語句を記載しなさい。

急性ウイルス肝炎は、その原因ウイルスの種類によって(1)型(HAV)、(2)型(HBV)、(3)型(HCV)、(4)型(HDV)、(5)型(HEV)肝炎などに分類できる。そのほか、(6)ウイルス、(7)ウイルス、(8)ウイルスなどでも発症する場合がある。感染経路としては、(1)、(5)は(9)感染、(2)、(3)、(4)は(10)を介して感染する。

4-75 急性C型肝炎について、（）内にあてはまる語句を記載しなさい。

急性C型肝炎ウイルスは(1)ウイルスの一種である。B型同様に(2)を介して感染する。かつての(3)肝炎の大部分がC型肝炎と考えられる。過去には原因の過半数が(4)後であったが、現在ではほとんど認められない。(5)従事者が気がつかないうちに感染したり、(6)、(7)治療などでも感染がある。臨床症状は他に比べて最も(8)く、肝機能もA・B型より軽度であるが、(9)化率が高く、(10)から肝癌に進む例もある。

4-78 次の () 内にあてはまる語句を記載しなさい。(但し (6) は英語表記しなさい)

HIV 感染によって (1) 陽性リンパ球の減少や欠乏、機能障害、細胞性 (2) 能の低下がおきる。この (2) 系の乱れにより、その後、(3) 感染と特殊な (4) が特長である (5) [AIDS = (6)] が発現する。HIV 感染から (5) が発現するまでの期間は長く、潜伏期は約 (7) 年である。感染すると、数週間後に抗体産生があり、ウイルスと抗体は終生 (8) する。1997 年時点で世界の (5) 患者は 130 万人と報告されているが、年々 (9) している。

4-83 次の () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

伝染性単核症とは、(1) による感染で、初感染が (2) 期におこった場合にだけ、症状頸部の (3) のはれや、時に (4) 腫が認められる。検査として抗体価測定や (5) 反応を行う。血液検査では異型 (6) 球増加が見られる。

4-85 次の () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

カンジダ症は、病原体として (1) によるものが多い。カンジダはヒトの (2) 内や大腸、(3) に常在しており、(4) の低下した患者に病原性を発揮する。AIDS では皮膚粘膜カンジダ症が頻発する。また、(5) 治療中の患者に発症することが多い。症状として、表在性のものに皮盾、爪、(6)、(3) などに発症する。そのほか (7) 炎、(8) 炎、心内膜炎、関節炎などをおこす。

4-95 アニサキス症について () 内にあてはまる語句を記載しなさい。

イルカ・アザラシなどの海獣を最終 (1) とする寄生虫 (線虫) である。幼虫が (2)、(3)、スケトウダラ、(4)、カツオなど多種類の魚介類を中間 (1) として寄生しているため、これを知らずに (5) すると、ヒトの (6) や腸の粘膜に侵入し、アニサキス症をおこす。(5) して数時間たつと、急激な (7) を来す。2~3 日で死滅するので自然治癒することが多いが、腸管 (8) 例もある。(6) 内視鏡検査で (6) 粘膜に迷入した虫体を直接みつけることがある。新鮮な刺身を食べる時には注意し、体長 2~3 cm の (9) 状の虫体はアニサキスと考えてよい。

4-96 感染症新法による感染症類型 (平 20. 5 改正) について、次の内容にあてはまる感染症類型 (1 類~5 類) を記載しなさい。

- (1) 集団発生を起こしうる感染症。
- (2) 情報提供・公開によって発生・まん延を防止すべき感染症。
- (3) 危険性が高い感染症。
- (4) 国民の健康に影響を与えるおそれのある感染症。
- (5) 危険性が極めて高い感染症。

J